

育成モノづくり人材

Vol. 57

静岡県立浜松城北工業高校

徳川家康が若き日々を過ごし、「出世城」と呼ばれる浜松城。その北に位置する静岡県立浜松城北工業高校



森谷校長

は、前身の浜名郡蚕業学校時代から数え約120年の歴史がある伝統校。「地球にやさしいエンジニア」を合言葉に、モノづくりとボランティア活動を通じた自然保護などのボランティア活動を通じて、工業技術

自然保護活動を単位認定

た特色ある環境教育活動に取り組んでいる。「自分たちで自分の未来を良くしたい」「自分が植えた木が何十年先も残ることがうれしい」。環境ボランティア活動に参加した生徒たちは、田植

【DATA】▷校長=森谷明氏▷所在地=浜松市中区▷学科構成=機械科、電子機械科、電気科、電子科▷総定員=960人▷主要設備=レーザー加工機、3Dプリンター、3DCAD、マシニングセンター、NC工作機械、夢創造館(モノづくりハウス)▷主な進路=スズキ、ヤマハ発動機、浜松ホトニクス、ホンダ、トヨタ自動車など

の約8割が就職。その就職先はスズキ、ヤマハ発動機、浜松ホトニクスやその協力企業など地元有力企業が名



環境にやさしいエンジニアを目指し実習に励む生徒ら

高校の2校。1都市に二つの工業高校がある。森谷明校長は「輸送用機器や楽器、光関連企業が集積する強固な産業基盤があるから2校が共存できる」と説明する。2016年度は卒業生

を連ねる。学科は機械科、電気科、電子科、電子機械科の4学科。実習室には「5S」の標語。こうしたモノづくりの規格であるISO14001の内部監査員も養成している。09年に開始し、すでに約400人の生徒が研修を修了、資格を取得した。

専門的な知識や技術に加え、森谷校長は「協働」の重要性を強調する。未知の状況にも対応できる思考力や判断力、他者と関わり対話し、協力する「コラボ力」の育成に力を入れる。2年生が参加するインターンシップ(就業体験)や、電子科で実施している生徒が教壇で教える授業もその一環。3年生になると夏休みから準備し「自ら発信できる技術者になつてほしい」と生徒の成長に期待を寄せる。

(浜松編集委員・田中弥生)
(金曜日に掲載)